

レインボータウンFM77

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 77回 2019.4.17 OA)

【第77回オープニング】

みなさんこんばんは。ベースの伊藤広規です。

レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」

今夜は第77回目！それでは行ってみましょう！

【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウン FM」から 江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

寒くなったり暖かくなったり気まぐれな陽気が続いて、今年の桜は長くみられて得した気分ですね。

【1 曲目】

今夜は 探し出せたこの1 曲。

Timmy Thomas 1972 年アルバムタイトルと同じ曲名で Why can't we live together

【曲途中から】

京都で気に入ってるカレーラーメン屋さんがありまして、そのお店は、いつも有線ラジオが流れてるんです。それが、いつも私のツボに、はまった曲が多いんです。

先週もそこで食べてたら、あ！この曲！と、昔 FEN のラジオで聞いて、好きになった曲なのに、誰の曲かわからなくてずっとココロに引っかかって、探していた曲。ホテルに帰って、即 有線のHP で流れた曲を調べたら、見つかりました！ 即買い。東京に戻ったらもう届いてました。聴いてみて驚いたのが録音はモノラルだったんです。リリースは 1972 年。そういえばジミヘンの「紫の煙」もモノラルでした。この頃はまだステレオ録音でないものもたくさんあったんですね。でも気にならないどころか広がりも奥行きもあって、いい感じですね。そう、この曲を久々に聞いたお店は、お酒も飲めてゆっくりと楽しめる。そうでなかったらこの曲に再会できなかつたと思うと、カレーラーメンとお店に感謝です。(笑)

調べてみると、この曲は、シャーデーがモントレージャスフェスでカバーしていて、この世界観はシャーデーが好きそうですね。

【1 曲目が終わり 2 曲目】

2 曲目は Chi-Lites 1972 年 「A Lonely Man」 から The Coldest Days of My Life

【曲途中から】

この曲も ティミー・トーマスを聴いた同じ頃に、FEN のラジオで好きになった曲です。

当時ソウル系が私の中でマイブームになっていて、このアルバムは いい曲揃いで、超有名な Oh girl も入ってます。シャイ・ライツは、70 年代初期、シカゴのヴォーカル・グループとして、人気・実力ともにダントツでした。ボーカルの Eugene Record (ユージン・レコード) がほとんど作曲してます。曲もいいんですが、コーラスワークとストリングスが切なくていい。この頃はまだシンセで、ストリングスパートを録音する時代でなかったもので、生で弾くのが当たり前。これが切ない雰囲気を出してます。

今は、ほとんどシンセでの録音で、たまに生のストリングスを入れたりすると、音源のバランスが良くないものが多い。生の弦はピッチもシビアだし、マイクでの録り方も センスがいる。学校で教わるとおりでは無いんですね。

ティミー・トーマスも、シャイ・ライツも、人工頭脳では作れない音楽の良さを思い出させてくれる曲ですね。

来週火曜日 23 日は、西荻窪のテラで GOLD ROCK ライブ。メンバーの大槻啓之が、シングル盤の B 面オタクで、知られてない ROCK のイイ曲をよく知ってる。ドラムスの岡井大二は 60 年代のポップスを詳しくすぎるほど詳しい。まあ、こんなオタクな 3 人で知られていない名曲でライブです。

24 日水曜日は、FUNK な Live! 私のスラップベース、これも見逃せないですよ。ぜひ遊びに来てくださいね。

《曲終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。
URL は Kokiradio.net (コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー
ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。

新作 広規ストールと

広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。

今月もドシドシメッセージお送りください。

では、来週も水曜日

この時間に！

《間》

伊藤広規でした。